船橋市議会議員

ひいろ健人（たけと）

市議会レポート

第56&57&58
合併号

発行：ひいろ健人（たけと）事務所　船橋市海神6-11-9　TEL 047-420-1800　FAX 047-420-1801

E-mail　info@taketo2784.net（フナバシ）　http://www.taketo2784.net（フナバシ）（活動ブログ更新中!）

■日常を取り戻そう ～第６波に備えつつ、前を向いて進もう～

この夏、猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の第５波は全国的に大きな爪痕を残しました。当市においても７～９月の感染者数は過去に例をみないほどの増加を記録し、現在までに市内の感染者数は累計で約13,000名を数えることとなりました。大変つらい思いをされた皆様に心からのお見舞いを申し上げますとともに、１日も早いご回復を願うばかりです。

この非常事態にあって、当市では保健所を中心に全庁をあげて支援にあたり、迅速な検査、医療体制の整備、ホテル療養の手配、自宅療養者へのフォローなど、様々な場面における対応にあたりました。８月下旬からは再度の公共施設の一部閉鎖を余儀なくされるなど、市民の皆様にもご不便をおかけすることになったほか、切り札とされるワクチン接種についても、国からの供給不足のために７～８月の円滑な予約に支障をきたし、早く接種を受けたいという市民の切実な要望に十分応えられなかったことは残念でなりませんでした。

しかしながら、市民の行動変容の成果もあり、去る９月末日をもって全国で緊急事態宣言が解除されたことに伴い、今月に入って日常がわずかながら戻りつつあります。ワクチン接種は11月末までに８割の方が二回の接種を終えられるよういまなお努力が続けられていますが、高い効果を保ち続けられるように、３回目以降の接種体制確保が求められています。

これから冬場を迎えるにあたり、昨年末同様の大きな感染の波を再び引き起こすことの無いよう、市民の皆様には引き続き基本的な感染対策をお願いすることになります。しかし同時に、経済活動をはじめ、これまで大きな制約を受けてきた社会各層の活動を取り戻す動きもはじめなければなりません。

この２年間で私たちの社会は大きなダメージを受けました。失われた様々な機会、出会うはずであった人々、生まれるはずであった多くの可能性を考えると胸が痛みますが、これまで人類は多くの感染症の惨禍を乗り越え、進歩を続けてきたこともまた事実です。新型コロナウイルスとの闘いがあとどのくらい続くのか、誰にも予測ができませんが、人類はその英知を結集して必ずやまた乗り越えることでしょう。その日が遠からず訪れることを信じて、市民の皆さんとともに歩んでいきたいと思います。ご一緒に前を向いて進んでいきましょう。

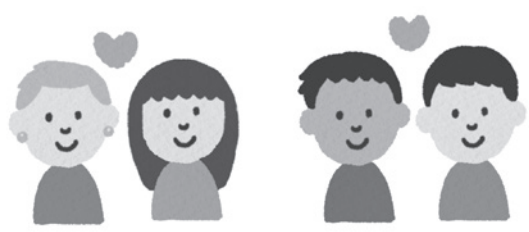
令和３年10月　**日　色　健　人**

■「パートナーシップ宣誓制度」導入に向けて ～パブリックコメントが行われています～

このたび、船橋市では、様々な事情から婚姻に至らない関係にある方々への社会的理解が進み、「誰もがお互いの個性や価値観を理解･尊重し、自分らしく輝けるまち」の実現を目指し、互いに人生のパートナーとする二者のパートナーシップの宣誓を市が証明する、「船橋市パートナーシップ宣誓制度」の実施を予定すると発表しました。去る10月１日から市民の意見を求めるパブリックコメントが実施されています。

具体的な内容については市のホームページをご覧いただきたいと思いますが、特徴として、制度を条例によらず、緩やかに調整できる要綱で実施することや、同性パートナーに限らず婚姻に至らない異性パートナーも、パートナーシップ宣誓の対象とすることなどがあげられます。宣誓をした二者には証明書が交付されるほか、今後市のさまざまな施策においても適切に取り扱われると同時に、市は市民や事業者への周知啓発に努めることが求められています。パブリックコメントの実施後、市民への周知期間を経て、本年12月に制度が施行される予定となっています。

私は以前、「船橋市LGBT・性の多様性を考える議員連盟」の会長として、性的少数者の方々のご要望を聞く機会を踏まえ、市に対し同性カップルの方々に自治体がパートナーシップを証明する制度の導入を求めてきましたが、このたびこの趣旨を踏まえ、より緩やかに大きな制度として開始されようとすることを高く評価したいと思います。今後さらに多様な生き方を認め合える社会の実現のため、私も努力していきたいと思います。



■９月議会一般質問 ～市民に寄り添った市政の実現を～

去る９月14日（火）、２年半ぶりとなる一般質問に登壇しました。議長在任中は質問に登壇することができなかったため、久しぶりの登壇にやや緊張しましたが、①障害児・者への日常生活用具費の支給について　②「ひといちばい敏感な子（Highly Sensitive Child）」という概念と学校教育について　③青少年行政について　等を通告し、市執行部と議論を行いました。以下、その一部を抜粋してお知らせします。

★障害者紙おむつ等購入費用の支給について ～支給対象の拡大を！～

日　　色　先日、とある難病を患う３歳のお子さんの保護者から相談があった。病気のため運動機能に障害があり、紙おむつの使用が必須だが、主治医の意見書を添えて補助制度の利用を申請したところ認められなかったとのことであった。その理由として、現在の支給要領ではその要件を脳性まひ等の脳原性運動機能障害に限るとなっているところ、このお子さんの病気はそれに該当しないためとのことであった。原因は違えど、運動機能障害という症状は同じである。また、他市では支給の対象となっているところもある。当市においても支給対象を拡大すべきではないか。

福祉サービス部長　このたび、国の見解や他市の状況を改めて確認し、見直しする必要があると考えたので、議員ご指摘のとおり、支給対象を拡大することについて対応してまいりたい。

日　　色　拡大するという答弁を高く評価する。しかし、本来であれば市民から相談のあった段階で、担当課で検討し、対応が可能であったのではないか。常に市民に寄り添って制度の改善を図ってもらいたいが市長の見解は。

市　　長　日頃から職員に対して、「もし窓口に来られたのが自分の親だったら、友人だったら」と考えて業務にあたるように指示している。これからも市民に寄り添った接遇を心がけるようにしたい。

★「ひといちばい敏感な子（Highly Sensitive Child）」という概念と学校教育について

日　　色　昨今、昨今、ひといちばい敏感な感性を持つ一方で、刺激が苦手であったり、そのために傷つきやすく、疲れやすい等の特徴の気質の子供を指す、「HSC」という概念が広まっている。当市においても理解と周知啓発に努める必要があるのではないか。

学校教育部長　HSCの児童生徒にとって過ごしやすい学校生活となるよう、研修等を通して周知啓発し、教員の理解を広めてまいりたい。

日　　色　こうしたHSCのお子さんはこの気質ゆえに集団生活になじみにくいこともあり、不登校等につながることもあると聞く。広島県の「校内フリースクール」の取り組みなど、HSCの児童生徒にとって有用と思われる事例を積極的に調査研究すべきと考えるがどうか。

学校教育部長　「校内フリースクール」の取り組みについては、本市で行っている別室対応と比較しながら、児童生徒にとって効果的な居場所となるよう、情報収集に努めてまいりたい。

★青少年キャンプ場の今後をどうする？ ～指定管理者制度導入の効果はあるか？～

日　　色　青少年キャンプ場について、地権者の意向や森林経営計画制度の制約により、立ち木の伐採ができないなど、現在の形態を大幅に変更できない状況とのことである。民間事業者の創意工夫の余地が少ない中で、指定管理者制度を導入しても財政効果は見込めないのではないか。

生涯学習部長　財政効果については、確かに貸出業務や維持管理業務についてコスト削減効果を見込むことは難しいものと考えているが、一般利用の受入や利用料金制度の導入も検討していることから、現在慎重に見極めているところである。

日　　色　現在の姿勢は指定管理に出すことありきで、キャンプ場を自分たちの手から放したいということばかりにみえるが、市直営を維持して運営の改善を図ることはできないか。

生涯学習部長　「青少年の健全育成に資する」という目的をしっかりと押さえたうえで、より多くの利用者に体験活動の場をもっていただけるよう検討をおこなってまいりたい。

■９月議会閉会 ～令和２年度決算の認定など～

去る10月５日（火）、令和３年第３回定例会（９月議会）は市長提出の10議案ほかを可決して閉会しました。

この議会に市長から提案された主な議案としては、キャッシュレス決済導入促進と消費喚起のため、キャッシュレス決済を行った消費者にその金額の一部をポイントとして還元する事業（予算額10億円）や、緊急事態宣言の影響を受けた飲食店以外の事業者に対して、７～９月分として最大15万円を支援するもの、新型コロナウイルスの対応にあたる保健所の予算を増額するものなどがあり、審議の結果すべて可決されました。

また、令和２年度の決算についても提出があり、審議の結果いずれも認定されました。新型コロナウイルスの影響によりさまざまな事業が中止・縮小を余儀なくされたことから例年よりも多くの不用額がでたことや、大幅な市税等の歳入減は避けられたものの、依然として予断を許さない財政状況であることが明らかになっています。（詳細については11月中旬発行予定の「市議会だより」をご覧ください。）

■市施設に非接触型検温器の設置を要望しました

新型コロナウイルスの第５波では、船橋市役所本庁舎内でもクラスターが発生するなど、十分な感染対策がとられているはずの公共施設にあっても100％の安全を確保することは難しいという事実が明らかになりました。

こうした厳しい状況を踏まえ、私が代表を務める会派「自由市政会」では過日、松戸徹船橋市長と面談し、「市施設における非接触型検温器の早期設置を求める要望書」を提出しました。市施設における活動や業務を継続するにあたって、利用者また市職員の毎日の健康観察が重要となっていますが、現在は利用者また職員の自己申告（自己管理）にとどまっており、実効性が必ずしも担保されておりません。

一方で、商業施設、飲食店等をはじめとする民間施設においては、非接触型検温器の設置が進み、利用者が積極的に自らの体調を確認する様子が見て取れます。このことから、市施設においても早期に設置し、利用者また職員の安全を確保すべきと考え、要望を行ったものです。

市長からは前向きに検討したいとの回答があったところですが、職員また来庁者の安全を確保する一助となればと思います。

松戸市長に要望書を提出

コロナ対策について市長と懇談

■市議会議長職を退任しました

６月議会の冒頭において、第62代議長職を退任しました。議会内の申し合わせにより、任期四年の折り返しとなるところで役職の改選が行われることに合わせたものです。

令和元年５月の就任から２年余り、大過無く職責を果たせたことにまずは安堵しています。令和元年９月の台風被害やコロナの影響などもあり、平時と比べ十分に活動できたとは言えず、心残りがないと言えば嘘になりますが、それでも自分なりに精一杯取り組んだことに後悔はありません。

この間支えていただいた石崎副議長はじめ同僚議員の皆様、議会事務局職員の皆様、また市執行部の皆様に深く感謝申し上げます。

後任の議長には、私が所属する会派の代表として支えて頂いた渡辺賢次議員が当選されました。私もまた一議員として、新議長をお支えするとともに、改めて心機一転、市民のために議員活動を続けていきたいと思います。

渡辺新議長と議長室で

■JR南船橋駅前が大きく変わります
～一体的な開発に加え、児童相談所の設置も～

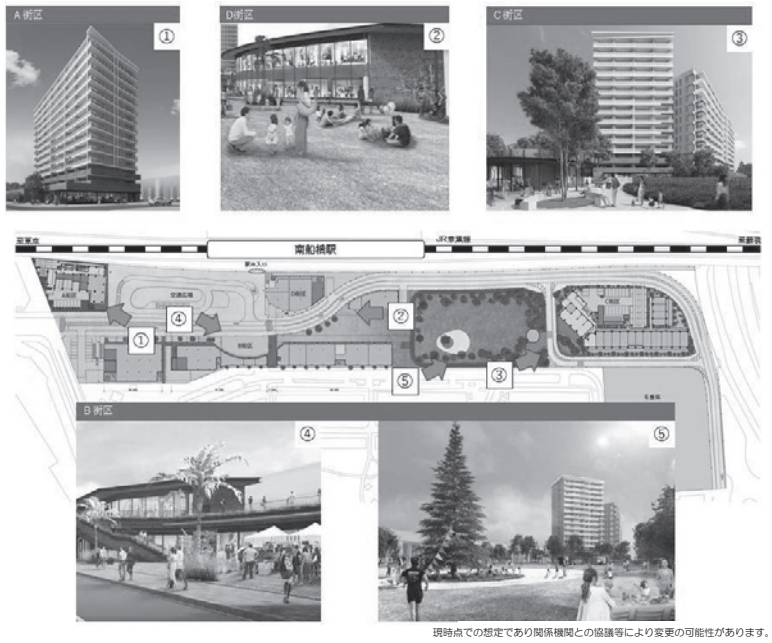
長年空き地となっていたJR南船橋駅南口の土地について、平成25年に県から市が取得して以来、整備計画が練られてきましたが、昨年３月に事業者（三井不動産グループ）との基本協定が締結され、まちづくりがスタートすることになりました。

具体的には、大規模な駅前広場が設置されるほか、住宅用地、商業施設などいくつかの街区に分けて開発が行われることとなります。

また、東側の一角は福祉施設用地として、現在市が計画を進めている市独自の児童相談所や、市南部圏域に不足している特別養護老人ホームも整備される予定となっています。

この９月議会では、道路などのインフラ整備に関連する議案および特別養護老人ホームの整備に関する補正予算が可決されました。JR南船橋駅周辺は大規模商業施設のほか、近年は大型物流施設が集中して立地するなど、市にとっても大きな可能性のあるエリアです。魅力あるまちとなるよう、これからも推移を見守っていきたいと思います。

《事業イメージ》



「令和３年度船橋市におけるまちづくりの取り組み」より抜粋

活動日誌

最近の主な活動の一部をお知らせします。

8月12日（木）　船橋市幼稚園連合会役員との打ち合わせ
8月19日（木）　９月議会に向けた市長懇談
8月20日（金）　特定健康診査
8月22日（日）　ボーイスカウト船橋第３団団会議（オンライン）
8月24日（火）　総合計画調査研究特別委員会全体会
　　会派代表者会議
8月25日（水）　議会運営委員会
8月26日（木）～27日（金）　議案等説明

8月30日（月）　議会　開会日
8月31日（火）　議案等説明
9月 6日（月）　議会　議案等質疑
　　予算決算委員会理事会
9月 7日（火）　議会　発議案等質疑
　　予算決算委員会全体会
9月 8日（水）～14日（月）　議会　一般質問
9月11日（土）　ボーイスカウト千葉県連盟スカウト支援委員会（オンライン）
9月17日（金）～21日（火）　健康福祉委員会

9月27日（月）　議会運営委員会
9月28日（火）　予算決算委員会理事会
9月29日（水）　本会議　追加議案質疑
9月30日（木）　予算決算委員会全体会　討論・採決
10月 2日（土）　自由民主党千葉県第13選挙区支部街頭演説会
　　公明党時局講演会
10月 3日（日）　海神４・５丁目自治会祭礼神事
10月 4日（月）　会派代表者会議
　　議会運営委員会
10月 5日（火）　議会　閉会日　　ほか

■ホームページをご覧下さい

日色健人 Official Web Site では、市議会レポートのバックナンバーを掲載しているほか、会議録や質問動画へのリンク、活動ブログを日々（?）更新しています。お時間のあるときにぜひ一度ご覧下さい。

アドレスは
http://www.taketo2784.net/
（タケトフナバシ.ネット）です。
検索サイトで「日色健人」と入力いただいてもたどりつけます。

日色健人　検索

■日色　健人（ひいろ・たけと）プロフィール

昭和53年船橋市生まれ　二葉幼稚園、西海神小学校、市川学園中・高を経て早稲田大学法学部卒業。サラリーマン生活を経てアメリカ合衆国西海岸を南北に貫く「パシフィック・クレスト・トレイル」全4200kmを徒歩で踏破（日本人初）。平成19年４月の船橋市議会議員選挙において初当選。現在4期目。令和元年５月、第62代船橋市議会議長に就任。会派「自由市政会」代表。

地域での主な活動：自由民主党船橋市支部、ボーイスカウト船橋地区スカウト支援委員長、船橋稲門会（早大OB会）、船橋市国際交流協会、日本山岳会、（公社）船橋青年会議所第46代理事長、保護司　ほか

趣　味：アウトドアスポーツ（山歩き、キャンプ、カヌー）
愛読書：ヘンリー・D・ソロー「森の生活」
座右の銘：Where there is a will, there is a way.
　　（意志あるところ必ず道あり）

■編集後記

長かった緊急事態宣言が解除され、ゆっくりとはいえ日常が戻ろうとしています。コロナに翻弄され続けたこの２年間から私たちの社会は何を学び、前に進むのでしょうか。ご一緒に考えていきたいと思います。（健）